

帰国研修員による JICA ミニプロジェクト

披露式典挨拶（仮訳）

2025年6月17日

於 バガセス市中央公園

JICA コスタリカ

所長 吉田憲

皆さま、こんにちは。

バガセス市の起業家による観光・文化資源のデジタルカタログ発表という、この意義深いイベントに参加できますことを、大変光栄に思います。この取り組みは、この地域のアイデンティティ、努力、そして可能性を讃える価値あるプロジェクトです。

本日は、JICA（国際協力機構）を代表して、バガセス市役所ならびにカーニャス地域の INDER 地域評議会の皆さまに、心より感謝申し上げます。このような大切な場にお招きいただき、私どもも関わらせていただけることを大変うれしく思います。

日本とコスタリカは、地域開発の重要性、伝統文化への敬意、そして地域住民を主体とした協働の価値を共有しています。「Senda Bagaceña（センダ・バガセーニャ）」のような取り組みは、まさにその共通のビジョンを体現しており、文化の継承と起業が持続可能な地域発展の原動力となることを示してくれています。

このような理由から、JICA としても、そしてコスタリカ帰国研修員同窓会（ACEAJA）を通じて、元研修員の皆さんが地域のために行う様々なプロジェクトや活動への支援を今後も続けてまいります。どうか、ACEAJA や JICA コスタリカ事務所に気軽にご相談いただければ幸いです。これからも、皆さんのご活動の中で、日本の知見がお役に立てることがあればいつでもご相談ください。

また、今回のカタログに参加されているすべての起業家の皆さまに、心より敬意と賛辞をお伝えしたいと思います。皆さまの活動はこのカントン（市）の発展にとって非常に重要であり、地域の未来を切り拓く新しい道を開いてくださっています。

JICA は、今後もコスタリカの包摂的でレジリエントな、地域に根差した発展に寄り添い続けてまいります。そして、日本とコスタリカの間の協力関係が、さらに強固なものとなるよう取り組んでまいります。

本日は誠にありがとうございました。そして、心よりお祝い申し上げます。

以上

バガセス市役所からの発信